

UNIT

2

内容理解のリスニング
—英語の語順に慣れる

▶ 英語の語順

UNIT 2では英語の語順に慣れてリスニングの内容を理解する練習をします。UNIT 1で扱った英語独自の音声以外にも、英語の語順がリスニングの内容理解を難しくします。日本語と英語の語順を確認しましょう。次の日本語を5秒で英語にしてください。

「わたしが買った本」

できましたか？日本語が「わたし」で始まっているので、Iが最初に思い浮かびませんでしたか？初級のリスニングクラスでこの質問をすると、多くの生徒さんが、「I bought…」と言いかけて止まってしまいます。“I bought a book.”では「私は本を買った」になってしまいます。

日本語の語順 = 私が 買った 本
I bought a book

英語は後ろから説明する語順なので、「私買った」は「本」の後ろに来ます。

英語の語順 = a book I bought
本 私が買った

▶ 英語の5文型と修飾語

先の“I bought a book.”は「私は本を買った」というセンテンスですが、語順通りに訳せば、「私は / 買った / 本を」です。語順が違うので英語を瞬時に日本語で理解することが難しいですね。3語ならどうにか理解できても、センテンスが長くなれば混乱します。リスニングの素早い内容理解のためには文構造を理解する必要があります。中学英語の復習を兼ねて英語の5文型を見ましょう。

1. SV (主語 + 動詞)

That custom survived.
S V
その習慣は / 残った

2. SVC (主語 + 動詞 + 補語)

She got tired.
S V C
彼女は / なった / 疲れた状態に

3. SVO (主語 + 動詞 + 目的語)

He needs help.
S V O
彼は / 必要だ / 助けが

4. SVOO (主語 + 動詞 + 目的語1 + 目的語2)

We offered her an opportunity.
S V O₁ O₂
我々は / 提供した / 彼女に / 機会を

5. SVO C (主語 + 動詞 + 目的語 + 補語)

I made her happy.
S V O C
私は / した / 彼女を / 幸せに

この5文型の基本形に、場所、時間など、様々な情報（修飾語）が足されます。例を出します。SVOの文です。

例：基本形

I got a position.

私は / 得た / 職を



基本形 + 修飾語

I got a position at a trading company last month.

私は / 得た / 職を / 貿易会社で / 先月

例文の基本形は3語です。音声に慣れれば内容理解はそれほど難しくありません。修飾語が足されて語数が増えてくると混乱するのです。しかし、修飾語の種類を理解が素早い内容理解に役立ちます。もう一度例を見ましょう。

I got a position _____ .

下線部に入る語を覚えていますか？ 漠然と英文を聞くより情報の種類を意識するだけで内容理解が容易になります。

I got a position .

場所は「貿易会社」at a trading company、時間は「先月」last month でしたね。

▶ UNIT 2の目標

UNIT 2では日本語とは違った英語の語順に慣れることでリスニングの内容を正確に理解する力を養います。このUNITの日本語訳は英語の語順で示すので英語の語順で理解するようにしましょう。Partごとに練習問題があるので練習の成果をチェックしましょう。

Part 1

後ろから説明を足す英語のリスニング

Part 1の構成

このPartには〈1. センテンスの修飾〉と〈2. 名詞の修飾〉があります。〈1. センテンスの修飾〉の修飾語には場所、時間などの情報、〈2. 名詞の修飾〉には英語の語順での日本語訳が示されています。基本形と基本形 + 修飾語で一組になっています。

1. センテンスの修飾

1. 基本形

I'll meet with a client.

私は / 会う / クライアントに



基本形 + 修飾語

I'll meet with a client in Kyoto tomorrow.

場所

時間

2. 名詞の修飾

1. 基本形

The man visited an old temple.

その男性は / 訪ねた / 古いお寺を



基本形 + 修飾語

The man studying the Japanese literature visited

その男性は / 研究している / 日本文学を

an old temple in Kyoto.

古いお寺を / 京都の

▶練習の手順

音声は各センテンスを3回繰り返します。

まず、**基本形**（各ペアの短い方）の練習をします。英文の下に英語の語順で日本語訳があります。

1. 英語を見て音声聞きます。この時、日本語訳を参考にして英語の語順で英文を理解します。
2. 英文を見て音声に合わせて発音します。日本語は見ません。
3. 英文を見ないで音声を聞いた後に、**語順を意識して**英文を言います。

<u>Ms. Lee</u>	<u>attended</u>	<u>a meeting.</u>
誰が・何が	する・した	誰を・何を

基本形の練習に続いて**基本形 + 修飾語**（各ペアの長い方）の練習をします。

〈1. センテンスの修飾〉は場所、時間など、情報の種類を意識して練習します。〈2. 名詞の修飾〉は修飾語の語順を意識して練習します。詳しくは〈1. センテンスの修飾〉、〈2. 名詞の修飾〉の中でそれぞれ説明します。

1. センテンスの修飾のリスニング

「練習の手順」の説明に沿って**基本形**の練習をします。**基本形**の練習に続いて**基本形 + 修飾語**の練習をします。

基本形

Norman studied Japanese.

Norman は / 勉強した / 日本語を



基本形 + 修飾語

Norman studied Japanese in Australia for five years.

場所

時間

基本形 + 修飾語には日本語訳はありませんが、時間や場所など修飾語の種類が示されています。

▶練習の手順

音声は各センテンスを3回繰り返します。

1. 英文を見て音声聞きます。場所、時間、情報の種類や語順を意識します。
2. 英文を見ながら音声に合わせて発音します。**情報の種類や英語の語順を意識します。**
3. 英文を見ないで音声を聞いて、**語順を意識して**英文を言います。
この練習を繰り返して、文構造に沿って内容理解する力を養いましょう。